

No. 541
2016年
8月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 第6回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年に日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第6回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

推薦方法：日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

提出書類：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

推薦対象者：ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

推薦締切：2016年9月30日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

*受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2017年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

*「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

*詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf>
をご覧ください。

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦締切日

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2016年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2017年1月31日
3. 学生論文賞：2017年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>からダウンロードしてご利用ください。過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

【研究賞】

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞50万円／1名）

【研究賞奨励賞】

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞20万円／1名）

【事例研究賞】

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

【業績賞】

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満60歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞10万円／1名）

【普及賞】

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

【実施賞】

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

【論文賞】

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞30万円/1件）

【学生論文賞】

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

● 2016年秋季シンポジウム（第76回）

日 程：2016年9月14日（水）

場 所：山形大学（小白川キャンパス）人文学部1号館1階103教室（B会場）

www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/campus-info/kojirakawa/

シンポジウムHP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2016f/symposium.html>

テーマ：再生・復興に向けたORの新たな役割

実行委員長：中山 明（福島大学）

後 援：山形大学（依頼中）

プログラム（講師および、講演タイトル）

セッション1

・第1講演（13:05～13:45）

東原紘道氏（東京大学地震研究所・名誉教授）

「（仮題）再生・復興プロセスにORを応用するのに役立つ検討項目について」

・第2講演（13:50～14:30）

脇坂隆一氏（国土交通省東北地方整備局東北国営公

園事務所・所長）

「東日本大震災の復興まちづくりのこれまでとこれから」

セッション2

・第3講演（14:50～15:30）

川崎興太氏（福島大学共生システム理工学類・准教授）

「福島除染・復興政策の転換期における除染・復興に関する課題—原発避難者の消滅と原発避難問題の終焉を前にして—」

・第4講演（15:35～16:15）

村松 真氏（山形大学東北創生研究所・准教授）

「農山村集落の消滅メカニズムと再生可能性」

・第5講演（16:20～17:00）

江本一男氏（特定非営利活動法人えき・まちネットこまつ・理事長）

「高校生と住民が協働する持続可能なまちづくりへの挑戦」

事前振込参加費（9/5（月）締切）：

正会員・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：9/5（月）締切

2016年度年会費納入済み個人正会員は、2016年春・秋シンポジウムのうち1回無料で参加できます。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、OR学会事務局にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：5,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

協賛学会（正会員と参加費同額）：

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会

(JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (JSRPIM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先: OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2016年秋季研究発表会

日 程: 2016年9月15日(木), 16日(金)

場 所: 山形大学 (小白川キャンパス)

山形県山形市

研究発表会HP: <http://www.orsj.or.jp/~nc2016f/index.html>

テーマ: 再生・復興とOR

実行委員長: 古藤 浩 (東北芸術工科大学)

後 援: 山形大学 (依頼中)

特別講演 (講師および, 講演タイトル)

- ・ 小山清人氏 (山形大学学長)
「研究室の運営を通じた人材育成」
- ・ 武田朗子氏 (統計数理研究所, OR学会研究賞受賞)
「数理最適化と機械学習の相互作用」

事前振込参加費 (9/5 (月) 締切):

正・賛助会員: 6,000円

学生会員: 1,000円

非会員: 8,000円

* 非会員の学生の事前振込みはありません。

* OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は, アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので, 振替用紙の半券を保管ください。

* 欠席の場合, 参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料: 非会員 (非会員学生を含む) の方が研究発表をする場合, 参加費と別途, 登壇料2,000円/件を頂戴いたします。(事前振込, 当日お支払い同額です。)

当日受付参加費:

正・賛助会員: 7,000円

学生会員: 2,000円

非会員学生: 2,000円

非会員: 10,000円

* 学生の方は, 受付で学生証の提示をお願いします。

懇親会:

場所: 山形大学小白川キャンパス「小白川食堂テール・ボム」

日時: 2016年9月15日(木) 夕方 (詳細未定)

参加費: 事前振込み5,000円 9/5(月) 締切 (懇親会は, 原則, 事前振込になります。)

賛助会員の方へ:

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。(事前の参加連絡は不要です。) ご参加者様については, 社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

企業展示:

(株)NTTデータ数理システム

(株)オクターバー・スカイ

(株)構造計画研究所

(株)近代科学社

サイバネットシステム(株)

協賛学会 (正会員と参加費同額):

日本経営工学会 (JIMA)

日本品質管理学会 (JSQC)

日本信頼性学会 (REAJ)

研究・イノベーション学会 (JSRPIM)

日本設備管理学会 (SOPE-J)

経営情報学会 (JASMIN)

プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先: OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 中部支部シンポジウム

「情報化時代の信頼性・安全性技術」

中部支部URL: <http://www.orsj.or.jp/chubu/?p=2593>

日 時: 2016年9月17日 (土) 13:30~17:00

場 所: ウィンクあいち15階 (愛知県立大学サテライトキャンパス)

〒450-0002 名古屋市中区村区名駅4-4-38

<http://www.winc-aichi.jp/access/>

プログラム:

13:30~13:35

開会挨拶: OR学会中部支部研究幹事 今泉充啓 (愛知学泉大学)

13:35~14:35

「オープンソースソフトウェアに対する信頼性評価の適用例と最近の動向」

講師: 田村慶信 (山口大学大学院)

14:45~15:45

「情報通信セキュリティとOR」

講師：後藤邦夫（南山大学）

15:55～16:55

「非定常累積超幾何試行過程とその応用～信頼性に
関連したある物語～」

講師：土肥 正（広島大学大学院工学研究院）

16:55～17:00

閉会挨拶：OR学会中部支部支部長 奥田隆史（愛
知県立大学）

参加費：1,000円（ただし、学生は無料）

懇親会：シンポジウム終了後、会場周辺にて懇親会を
計画しています（予定会費5,000円）。

懇親会に参加される方は、会場予約の都合上、下
記の事前申し込みを必ずご利用ください。多くの皆
さまのご参加をお待ちしております。

申込方法：中部支部のWebページからお申し込みく
ださい。2016年9月2日（金）締切。

シンポジウムは当日参加も可能ですが、準備の都
合上、できるだけ事前申し込みにご協力ください。
懇親会に参加される方は、席の確保のため、事前申
し込みを必ずお願いします。

問合せ先：OR学会中部支部研究幹事 今泉充啓
(imaizumi@gakusen.ac.jp)

● 研究部会・グループ開催案内

【信頼性】

部会URL：[http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/
socialactivity/index.html](http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/socialactivity/index.html)

・第15回

日時：2016年8月4日（木）15:30～17:30

場所：首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス会
議室B

[http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/
access.html](http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html)

テーマと講師：

(1) “Reliability Allocation for Software projects
using Static/Dynamic Software Reliability
Modeling”

Yashwant K. Malaiya（コロラド州立大学）

(2) “On the application of wavelet in software
reliability assessment”

肖 霄（首都大学東京）

問合せ先：幹事 肖 霄（首都大学東京）

E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

・第16回（国際会議APARM2016におけるORSJ
Special Session）

日時：2016年8月24日（木）～8月26日（金）

場所：韓国ソウルSeoul Campus, Hanyang University

<http://www.hanyang.ac.kr/english/>

※APARM2016: [http://aparm2016.cafe24.com/
?ckattempt=1/](http://aparm2016.cafe24.com/?ckattempt=1/)

講師（予定）：

Tadashi Dohi, Hiroshima University, Japan

Hirofumi Okamura, Hiroshima University, Japan

Begum Momotaz, Hiroshima University, Japan

Yoshinobu Tamura, Yamaguchi University,
Japan

Shinji Inoue, Tottori University, Japan

Yuka Minamino, Tottori University, Japan

Syouji Nakamura, Kinjo Gakuin University,
Japan

Kodo Ito, Kinjo Gakuin University, Japan

Mitsuhiro Imaizumi, Aichi Gakusen University,
Japan

Mitsutaka Kimura, Gifu City Woman's College,
Japan

Satoshi Mizutani, Aichi University of Technology,
Japan

Kenichiro Naruse, Nagoya Sangyo University,
Japan

Mitsuhiro Kimura, Hosei University, Japan

問合せ先：幹事 肖 霄（首都大学東京）

E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

【不確実性環境下の意思決定モデリング】

部会URL：<http://www.oit.ac.jp/or/>

・第8回（国際数理科学協会「確率モデルと最適化」
分科会研究会との共催）

日時：2016年8月26日（金）13:00～17:30

場所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター（大
阪市北区大深町3-1グランフロント大阪ナレッジ
キャピタルタワー C9階）

<https://www.oit.ac.jp/umekita/>

テーマと講師：

(1) 「基板検査における最適化～中小企業との産学連
携を通して～」

片桐英樹（神奈川大学）

本講演では、基板検査機メーカーとの産学連携の取

組を紹介する。基板の検査経路の最適化問題に対して、集荷配送TSPに基づくモデル化と解法を提案し、検査機器への組込みを行った。実際の販売台数の伸びや特許出願の話題にも触れ、中小企業との産学連携の意義と面白さ、難しさ、また、今後の課題等についても述べる。

(2) 「ジニブル点過程を用いたセルラネットワークのモデル化と解析」

三好直人 (東京工業大学)

最近、無線通信ネットワークの性能解析のためのモデルとして、無線ノードの位置を空間点過程によって表した空間確率モデルが注目されています。しかし、この分野における既存研究の多くは、無線ノードが定常ポアソン点過程にしたがって配置されていることを仮定しています。このことは、各ノードが互いに独立に位置していることを意味し、解析の容易さのためにノードの位置の相関を無視していることとなります。本講演では、無線基地局がジニブル点過程と呼ばれる空間点過程にしたがって配置されたセルラネットワークのモデルを考えます。ジニブル点過程は行列式点過程の1つであり、基地局が互いに負の相関をもって配置されている様子を表すことができます。この提案モデルに対して、被覆確率と呼ばれる性能評価指標が数値計算可能な形で与えられることを示します。また、数値実験により、基地局が定常ポアソン点過程にしたがうモデルとジニブル点過程にしたがうモデルとを比較します。

(3) 「海岸保全施設の維持管理問題について」

佐藤 毅 (神戸学院大学)

高度成長期に急速かつ集中的に整備された海岸保全施設は老朽化が進み、適切な維持管理事業による運用寿命の延長化、新規整備が計画されている。本講演では消波工を対象とし、性能劣化を確率過程ととらえたうえで、事後・予防保全を考慮した総期待保全費用最小化問題として、定式化および意思決定問題としての考察を行う。

(4) 「動的計画法とフィボナッチ数の2次評価分割、トリボナッチ数列による連の確率計算」

安田正實 (千葉大学名誉教授)

動的計画法の神髄は再帰関係にあると考える。フィボナッチ数列はその典型的な例であり、フィボナッチ数の2次評価分割をはじめ、トリボナッチ数列への拡張や多人数での最適時刻停止問題、カルマンフィルター理論のゲイン関数、黄金比との関連や π の逐次計

算法など枚挙に暇がない。ここではこれらの数点を紹介したい。

懇親会：(申込締切日：8月16日(火))：連絡先：幹事 中西)

場所：個室和食酒房うおまん ヨドバシ梅田店
(大阪府大阪市北区大深町1-1ヨドバシウメダ8F) <http://r.gnavi.co.jp/k021704/>

Tel：050-5787-7093

時刻：研究会終了後、17:50の予定

費用：6,000円程度

問合せ先：幹事 中西真悟 (大阪工業大学)

nakanisi@dim.oit.ac.jp

〔意思決定法〕

部会 URL： <https://sites.google.com/site/decisionorsj/>

・第37回

日時：2016年9月3日(土) 14:00~16:00

場所：中京大学名古屋キャンパスセンタービル7F
07D教室

地下鉄鶴舞線・名城線八事駅5番出口すぐ

テーマと講師：

(1) 「ISAHP2016の報告」

佐藤祐司 (中京大学)

(2) 「AHPにおける整合性を考慮した代替案ウエイト算出の提案」

西澤一友 (日本大学)

問合せ先：西澤一友 (日本大学)

Tel: 047-474-2664

E-mail: nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp

● **新宿OR研究会**

〔第361回〕

日時：2016年9月20日(火) 12:00~14:00

講師：小松秀徳氏 (電力中央研究所システム技術研究所主任研究員)

テーマ：「スマートメーターデータ分析に基づく省エネルギー情報提供」

場所：OR学会事務局会議室 (東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

*詳細は学会HPをご覧ください。

<http://www.orjs.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円 (昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・日本経営システム学会第57回（2016年秋季）全国研究発表大会

日程：2016年10月15日（土）～16日（日）
場所：札幌大学
主催：日本経営システム学会
参加費：日本経営システム学会会員価格に準ずる
WEB：<http://www.jams-web.jp/information/actnatsc.html>

・第29回秋季信頼性シンポジウム

日程：2016年11月24日（木）
場所：一般財団法人日本科学技術連盟東高円寺ビル
主催：日本信頼性学会
参加費：日本信頼性学会会員価格に準ずる
WEB：<http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=67>

・システム・情報部門学術講演会 SSI2016

日程：2016年12月6日（火）～8日（木）
場所：滋賀県立体育館
主催：公益社団法人計測自動制御学会システム・情報部門
参加費：計測自動制御学会会員価格に準ずる
WEB：<http://www.sice.or.jp/org/SSI2016/>

・IFSA-SCIS 2017

日程：2017年6月27日（火）～30日（金）
場所：ピアザ淡海（滋賀県大津市）
主催：日本知能情報ファジィ学会
参加費：日本知能情報ファジィ学会会員価格に準ずる
WEB：<http://ifsa-scis2017.j-soft.org/index.html>

● 公募案内

（詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。）

・首都大学東京大学院社会科学研究所経営学専攻 高度金融専門人材養成プログラム

URL：http://www.houjin-tmu.ac.jp/extra/download.html?d=assets/files/download/recruitment/teacher/tmu/2809_280826.pdf

募集職位：助教

募集人数：1名

所属及び勤務地：（学部）都市教養学部経営学系，（大学院）社会科学研究所経営学専攻

勤務地：丸の内サテライトキャンパス（東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング18階）

専門分野：「ファイナンス」，「金融工学」または「マクロ金融」

担当予定科目：（大学院）教授・准教授と協力しながら，高度金融専門人材養成プログラムにおける授業補助，論文作成補助を主として行う。

応募資格：（1）博士の学位を有する者または着任時までに取得見込みの者，（2）「ファイナンス」，「金融工学」または「マクロ金融」に関する論文が査読つき雑誌に1編以上掲載されているか，または掲載が受諾されている者

採用年月日：平成29年4月1日以降のできる限り早い時期

処遇：（1）職位・業績・職務内容に応じた年俸制，（2）退職手当は法人退職時に別に支給

任期：任期3年，更新なし（ただし，65歳となった年度の末日をもって退職となります。）

応募書類：（1）履歴書，（2）研究業績一覧，（3）教育・指導実績一覧，（4）外部資金実績一覧，（5）社会貢献等業績一覧，（6）応募者について所見を伺える有識者複数名の氏名・肩書・連絡先のリスト，（7）採用後の教育・研究・社会貢献活動の計画，（8）過去5年程度以内の主要な研究論文の別刷り・コピー

* 経営学系所定の様式および記入要領は下記ホームページからダウンロードしてください。

http://www.biz.tmu.ac.jp/adoption/adoption_index.html

提出方法：簡易書留で一括郵送（郵便または信書便に限る。なお，持参も可）。封筒等に「教員公募書類（2809 ファイナンス）在中」と朱書きのこと。

提出先：〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

公立大学法人首都大学東京総務部人事課人事制度係

提出期限：平成28年8月26日（金）（必着）

選考方法：1次選考：書類選考，2次選考：1次選考
通過者に対して，9月下旬から10月上旬に面接

問い合わせ先：

- ・公募全般に関すること

公立大学法人首都大学東京 総務部人事課人事制度係

TEL: 042-677-1111 (代) (内) 1027

E-mail: kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp

- ・専門分野に関すること

公立大学法人首都大学東京 管理部文系管理課庶
務・会計係

TEL: 042-677-1111 (代) (内) 1914

E-mail: bunkei-shokai@jmj.tmu.ac.jp

備考：本学は，ダイバーシティに配慮しており，特に
女性の積極的な応募を歓迎します。

(ダイバーシティ推進室) [http://www.comp.tmu.
ac.jp/diversity/ind](http://www.comp.tmu.ac.jp/diversity/ind)

2016年度第2回 ORセミナー 『ExcelソルバーではじめるOR』

開催趣旨:「限られた人や予算をうまく配分したい」「リスクを最小にするような投資配分を見つけないか」あるいは「多角的な視点から店舗や社員の効率性評価を行いたい」。そのような問題はオペレーションズ・リサーチ(OR)の代表的なツールであり、ビジネスにおけるキーテクノロジーの一つである「最適化」によってアプローチすることが可能です。ソルバーはある種の最適化を実現するソフトウェアです。高度化が進むソルバーの中にあつて、Excelソルバーは最も身近なものであり、エントリーモデルとして相応しいものといえます。本セミナーではオペレーションズ・リサーチ(OR)の古典的な問題を教材に、Excelソルバーでどんなことができるのかを学びます。なお、セミナーは講義形式と演習形式を織り交ぜて行い、参加者は予めExcel(2010以降可)をインストールしたラップトップパソコンを持参することを前提とします。

日 時: 2016年10月15日(土) 10:00~17:30
会 場: (株)構造計画研究所本所新館(地下1階レクチャールーム)
 〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065
 東京メトロ丸ノ内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: (株)構造計画研究所 齊藤 努 (OR学会研究普及委員)
司 会: 中央大学 後藤順哉
定 員: 60名(定員になり次第締め切らせていただきます)。

プログラム: (敬称略)

- 10:00~10:05 **開会挨拶**
- 10:05~10:30 **セッション1 「数理最適化とソルバー」** 講師: 中央大学 後藤順哉
数理最適化とは何なのか、それにおけるExcelソルバーの位置づけについて学びます。
- 10:30~12:00 **セッション2 「Excelソルバー入門」** 講師: 文教大学 堀田敬介
割当問題などの簡単な最適化問題について、数理モデルをExcel上で表現し解く方法を身につけます。
- 13:10~14:00 **セッション3 「ゲーム理論」** 講師: 文教大学 堀田敬介
2人非協力零和ゲームと線形計画の関係について学び、Excelソルバーで均衡解を求めます。
- 14:00~14:40 **セッション4 「0-1 整数計画」** 講師: 文教大学 堀田敬介
集合分割問題等の数理最適化モデルをExcel上で表現する方法を学び、Excelソルバーで求解します。
- 14:50~15:35 **セッション5 「ポートフォリオ選択」** 講師: 中央大学 後藤順哉
資産運用の基本である平均・分散モデルについて学び、Excelソルバーで効率的フロンティアを求めます。
- 15:35~16:20 **セッション6 「VBAを使って便利にする」** 講師: 中央大学 後藤順哉
アプリケーション用プログラミング言語VBAと組み合わせてExcelソルバーを使う方法について学びます。
- 16:30~17:30 **セッション7 「データ包絡分析法(DEA)」** 講師: 中央大学 後藤順哉
DEAの基本的な考え方について学び、Excelソルバーを用いて実現する方法について学びます。
- 17:30~17:35 **閉会挨拶**
- 17:35~ **「個別相談・質問コーナー」** 講師: 中央大学 後藤順哉, 文教大学 堀田敬介

参加費(テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

ORセミナー参加者特典: 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2016年度と2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

申込方法: メールタイトル「第2回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

申込締切: 2016年10月7日(金)

振込先: みずほ銀行根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会(正会員と参加費同額): 日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・イノベーション学会(JSRPIM), 日本設備管理学会(SOPE-J), 経営情報学会(JASMIN), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

2016年度第3回 ORセミナー 『Python言語によるビジネスアナリティクス』

開催趣旨: 高級スクリプト言語“Python”を用いて、実務家のための最適化・統計分析・機械学習などのオペレーションズ・リサーチの分野で必要なツールをご紹介します。このセミナーは、これからPythonを始める方や、これまで別のソフトウェアで最適化やデータ分析をしていた方にとって、Pythonの世界に踏み出すための最適なイントロダクションとなるでしょう。Pythonのユーザーフレンドリーさと自由度の高さを体験しましょう。

日 時: 2016年11月12日(土) 10:00~17:30

会 場: (株)構造計画研究所本所新館(地下1階レクチャールーム)
〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065
東京メトロ丸の内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: (株)構造計画研究所(以下KKE) 斉藤 努 (OR学会研究普及委員)

司 会: 東京海洋大学 久保幹雄

定 員: 60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

- 10:00~10:10 セッション0「環境整備 DockerとAnaconda」 講師: KKE 斉藤 努
- 10:10~10:30 セッション1「対話型シェル IPythonとJupyter」 講師: 東邦大学 並木 誠
インタラクティブに実行でき、記録・共有・再現に効果を発揮するIPythonの紹介。
- 10:30~11:20 セッション2「データ解析」 講師: KKE 斉藤 努
pandasによるデータ分析や可視化を紹介。
- 11:30~12:00 セッション3「統計～線形回帰, ロジスティック回帰, ポアソン回帰」 講師: KKE 斉藤 努
3つの仮想事例で、線形回帰, ロジスティック回帰, ポアソン回帰を紹介。
- 13:00~13:40 セッション4「機械学習」 講師: 東邦大学 並木 誠
機械学習の代表的なPythonモジュール: scikit-learnの主な分析手法を紹介。
- 13:50~14:30 セッション5「最適化～概要」 講師: 東京海洋大学 久保幹雄
最適化問題を分類し、幾つかの代表的な最適化問題に整理するとともに、各最適化問題を解くためのソルバーとモデラーを紹介。
- 14:40~15:10 セッション6「最適化～実践」 講師: 東京海洋大学 久保幹雄
数値最適化ソルバー Gurobi, PuLP, 非線形最適化ソルバー OpenOptを統一的使用するためのモジュール, ならびに制約最適化とスケジューリング最適化のためのモジュール (SCOP, OptSeq)を紹介。
- 15:40~16:30 セッション7「ネットワークと動的最適化」 講師: 東京理科大学 小林和博
グラフ・ネットワーク関連解析のためのモジュールであるNetworkXと動的計画の設計法を紹介。
- 16:30~16:50 セッション8「Excel連携」 講師: 東京海洋大学 橋本英樹
ExcelとPythonの連携を行うためのモジュールxlwingsを紹介。
- 16:50~17:00 閉会挨拶 東京海洋大学 久保幹雄

参加費(テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

ORセミナー参加者特典: 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2016年度と2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

申込方法: メールタイトル「第3回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

申込締切: 2016年11月4日(金)

振込先: みずほ銀行根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会(正会員と参加費同額): 日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・イノベーション学会(JSRPIM), 日本設備管理学会(SOPE-J), 経営情報学会(JASMIN), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

第28回RAMPシンポジウム

日 程：2016年10月13日（木），14日（金）
 会 場：新潟大学五十嵐キャンパス中央図書館ライブラリーホール
 実行委員長：田中 環（新潟大学）
 プログラム委員長：山田修司（新潟大学）
 後 援：新潟大学

プログラム

10月13日（木）

10：00～13：00 「連続最適化とその周辺」

オーガナイザー：田中 環（新潟大学）

- ・ Gue Myung Lee（李 圭明）（国立釜慶大学校，韓国），「Optimality theorems for convex optimization problems」
- ・ Do Sang Kim（金 道庠）（国立釜慶大学校，韓国），「Nonsmooth semi-infinite multiobjective optimization problems」
- ・ Jein-Shan Chen（陳 界山）（国立台湾師範大学，台湾），「From symmetric cone optimization to non-symmetric cone optimization: Projections onto nonsymmetric cones」
- ・ Ruey-Lin Sheu（許 瑞麟）（国立成功大学，台湾），「Recent developments and applications of nonconvex quadratic programming」

14：30～17：30 「数値解析と最適化」

オーガナイザー：大石進一（早稲田大学），劉 雪峰（新潟大学）

- ・ 小林健太（一橋大学），「四面体上のLagrange補間の誤差評価について」
- ・ 木村拓馬（佐賀大学），「最適化問題に関連する精度保証付き数値計算法について」
- ・ 関根晃太（早稲田大学），「有界な凸領域における連立楕円型偏微分方程式の解に対する計算機援用存在証明法」
- ・ 劉 雪峰（新潟大学），「ネットワークフローのモデルで論文査読者割当の問題を考える」

18：30～ 懇親会 アートホテル新潟駅前（新潟県新潟市中央区笹口1-1 TEL: 025-240-2111）

10月14日（金）

9：30～12：00 「離散最適化とその拡がり」

オーガナイザー：高澤兼二郎（法政大学）

- ・ 河村彰星（東京大学），「実数計算の理論と実践 — 連続世界の計算限界」
- ・ 宮田洋行（群馬大学），「有向マトロイドのトポロジー的表現定理およびその低次元化について」
- ・ 岩間一雄（京都大学），「ページランクゲームのナッシュ均衡」

13：30～16：00 「画像・信号処理」

オーガナイザー：梅谷俊治（大阪大学），白井啓一郎（信州大学）

- ・ 白井啓一郎（信州大学），馬場達也（北九州大学），「画像の局所領域がもつ特徴を利用した画像復元法と最適化問題として扱う際の課題」
- ・ 田中雄一（東京農工大学），「大規模時空間データのスパース表現に向けて：グラフ信号処理の基礎と応用」
- ・ 宮田高道（千葉工業大学），「画像信号のモデル化と最適化による復元について」

RAMP2016 ホームページ：<http://mathweb.sc.niigata-u.ac.jp/~ramp2016/>

数理計画（RAMP）研究部会ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/ramp/index.html>

2016年度年会費納入のお願い

2016年度年会費の請求書を2015年11月に発送いたしました。この払込取扱票は2016年1月以降も使用可能ですので、未納の方はお支払いをお願いします。大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名/法人名/法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書/見積書/納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1124744
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
カナ：シヤ）オペレーションズ
リサーチガックイ

郵便振替口座 00190-6-79492
口座名：公社）日本オペレーションズ
リサーチ学会

ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキユウ）（店番号019）
当座 0079492
口座名：公社）日本オペレーションズ
リサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担をお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は**2016年1月20日**に「2016年度年会費」を引き落としさせていただきます。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請/承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

2016年3月で卒業の学生会員の方へ

1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先/自宅）および、OR誌送付先（所属先/自宅）を事務局にお知らせください。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）の会費はそのままです。2016年11月に2017年度（2017年3月～2018年2月末）正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所/所属先/メールアドレス/ OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。